

みんなのスペース

やまだ文芸広場

セルフレジ
済んで一礼
殿方の
真摯な姿
眩しく映り

大川ヒメ子

五行歌
一面黄金色に
染まった稲穂が
夕陽に光る
三陸道からの
豊作の眺め

甲斐谷ミヤ子

短詩

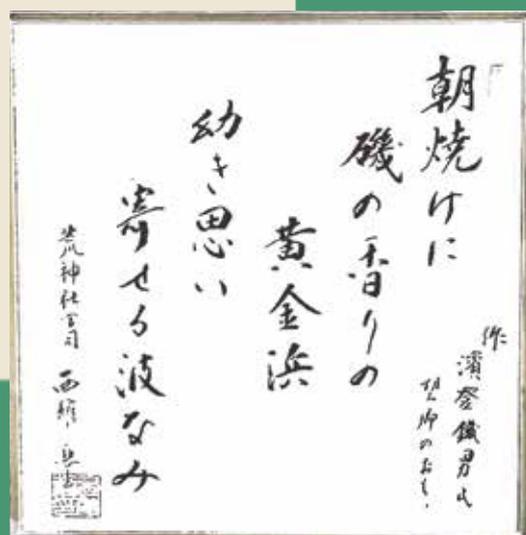
初秋の宵
窓べですだく
虫の声案ずるように
耳にとまり
ありがとう毎日つつがなく
暮らしているからと
つぶやいた
虫との会話



菊地サカエ

庭のモミジ
葉がパラパラ落ちて
秋ですね。
来年もよろしくと
声かける
「ごくろうさま」と
坂本フジ
コロナのため
マスクで美男、美女の
顔が見えず
いつまで続くコロナく

齊藤フサ



「ふるさとの神仏の加護で生かされているとの思いを句に読んだところ、大先輩が色紙に書いて送ってくれました。」

濱登 鐵男（東京都在住）

○皆さんの投稿をお待ちしています○

「みんなのスペース」では、皆さんからの投稿を募集しています。投稿規定を確認の上、郵送や電子メール、直接持参などで、発行日(毎月1日)のおおむね1か月前までにご提供ください。

◆**投稿規定** ▶住所、氏名(ペンネーム可)、年齢、電話番号を明記すること▶政治、宗教、営利を目的とするものや、特定の個人・団体をひぼう中傷するものは掲載できません▶行政広報として掲載することが適当でないと判断されるものは掲載しません。

◆**送付・問い合わせ** 〒028-1392(住所不要)山田町役場総務課情報係(☎82-3111内線416)へどうぞ。

広報クイズ No.304

全問正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント！3つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- ① 10月15日のウォーキングイベントで体験できたレクリエーションは「○カーリング」？
 ① スライド ② スライム
 ③ スライス
- ② 9月27日に豊間根小と船越小の5年生が体験したのは「○漁」？
 ① 地引き網 ② 定置網
 ③ はえ縄
- ③ 11月30日は「○の日」？
 ① クレジット ② 現金
 ③ 年金

【応募方法】 はがきに下記の内容を記載しご応募ください。当選者の氏名、年齢、地区名は来月1日号で発表します。応募は1人1通です。

<p>63 〒028-1392 山田町役場 広報クイズ係 行</p>	<p>(住所記載不要)</p> <p>・クイズの答え (例) ①-A ②-B ③-C</p> <p>・氏名 ・年齢 ・住所 ・連絡先</p>
--	--

「みんなのスペース」へのイラストの投稿を兼ねる場合は、氏名などの情報を表面に記載してください。

【締め切り】 11月15日(当日消印有効)

【当選者発表】 前回の正解は、①-C、②-B、③-Bでした。応募数は30通、抽選の結果次の10人が当選しました。

- ▶ 豊間根…佐々木有弥、大町剛
- ▶ 大沢…大川紗矢 ▶ 山田…堀合結心 ▶ 川向町…中村ワキ ▶ 飯岡…山崎貞男 ▶ 船越…山崎雅和、佐藤啓子 ▶ 釜石市…藤井みれい ▶ 雫石町…千葉玲悳 (敬称略)

ミュージカルに出演してみませんか

劇団ゆうでは、来年1月29日に公演する「アラジンとランプの魔人」の出演者を募集します。思い出に残るステージと一緒に作り上げませんか。たくさんの応募をお待ちしています。



昨年参加した子どもたち

- ▶ 対象者 山田町、宮古市、大槌町、釜石市に住んでいる人
- ▶ 定員 ▶ 第1部(お芝居とダンス)…20人(小学生のみ) ▶ 第2部(ダンスのみ)…40人
- ▶ 申し込み方法 町中央公民館窓口に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、ファクスや郵送でお送りください。
- ◆ 申込先・問い合わせ 特定非営利活動法人劇団ゆう (☎019-658-8988/ファクス019-687-5512) へ。

今、父を想うて

先日、同級生が教えてくれました。私の父親が、二十二歳頃の昭和八年、青年雑誌に投稿した旨が記されているのを見つけたと言うのです。「春の輝き 小谷鳥を眺めて」俳句でしょうか。私の父は二歳の時に父親を亡くしたそうです。貧しい生活の青年時、何を見つめ、考えて、生きたのか。そんな父の心内は知る由もないですが、只昔から書くことに興味はあったと感じました。それは、私が上京した時のことです。三日に一遍のように父から手紙が届きました。その手紙には空模様から、浜仕事の内容が詳細に綴られておりました。親の愛情なのでしょうね。涙しながら繰り返し読んだことを今も鮮明に覚えています。そんな父からの手紙は、結婚するとき段ボールいっぱいありました。改めて親には感謝です。そうした父も老いから書く意欲は無くなり、時々見せる記憶の乱れ、そんな姿に寂しさを感じた私は「これからが私の役割」と心に決めて半紙と毛筆を取りました。そして半ば薄らいだ昔を振り返りながら父が亡くなる九十三歳まで、父への手紙を書き続けました。私の親孝行の形であり、晩年の両親は幸せであったと今も信じています。

荒井 美由紀

つながるいのちの写真展を見て…

いのちの写真展企画、ありがとうございます。東日本大震災から11年6か月、笹原留似子様の講演会「いのち輝かせて」を見て、人それぞれ生きるため困難を乗り越え今があると思います。「灯り続けた街の明かり～みちのく医師の信念～」の映像を見ながら胸が熱くなり、また災害(津波30年)がこないことを祈りたいのですが防げないのです。頭ではいつも避難場所…。いつくるかわかりません。世界の方々、全国の方々の支援を忘れてはならない。備蓄を一週間分くらい準備します。

上林 幸子